

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース】

科目名	ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
見学実習		必修	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
関根 聡美 他	D313	s.arakawa	火曜 12:00～13:00		
授業の目的・概要	学外実習協力施設にて、理学療法士の業務内容と役割について学び、理学療法並びに医療従事者について理解することを目的とする。事前学習では理学療法士を志す学生として相応しい態度、目標シート、ポートフォリオの作成方法等を指導する。学外実習では個々の目標に応じて能動的に学び、実習後にポートフォリオの作成と発表によって理解を深める。				
授業形式・方法	☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学習) ☒ 講義 ☐ 演習 ☒ 実習 ☐ 実技 ☐ PBL ☒ グループワーク ☐ その他（ ☐ 反転授業 ☒ プレゼンテーション ☐ ディスカッション・ディベート ☒ 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	学外施設の協力によって成り立つ実習であるため、丁寧な言葉遣いや清潔感のある身だしなみが必要となる。また、実際の理学療法を見学できる機会であるため、能動的に行動することが求められる。				
教科書	6 ステップで組み立てる理学療法臨床実習ガイド 編集：木村 大輔 出版社：医学書院				
参考書	理学療法 臨床実習サポートブック 著者：岡田慎一郎、上村忠正 他 出版社：医学書院				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	実習内容に基づいて自己の成長を確認することができる			RH (4)、(5)、PT (6)	
②	理学療法士の役割と業務内容を説明できる			PT (1)	
③	医療従事者としての倫理観・コミュニケーション能力について理解できる			RH (1)、PT (3)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
[事前学習内容] 5 月～7 月（7 コマ）： - 臨床実習 I のオリエンテーションを行い、実習の心構えや注意点について学ぶ。 - コミュニケーション技法や標準予防策等の実習に必要な知識を学ぶ。 - ポートフォリオの作成方法について学ぶ。 - 臨床実習目標シートの作成を行う。 - 実習時の身だしなみの確認を行う。 [学外実習内容] 実習期間は夏季休業中の 3 日間とし、学外実習協力施設にて実習を行う。主な注意点を下記に示す。 ☐ 実習施設の規則を遵守し、指示に従うこと ☐ 予め立案した目標を達成できるように能動的に行動すること ☐ 実習記録を作成し、次の日に実習指導者に提出すること(最終日の記録は指導者への提出は不要であるが、作成すること) ☐ 適宜、必要な事項について予習・復習を行うこと [事後学習内容] 実習終了後（3 コマ） - 実習の経験に基づき、実習の振り返りと実習の課題を行い、実習報告用のプレゼンテーション資料を作成する。 - 実習報告を各グループで行う。なお、各グループ内で日程を調整すること。 - 臨床実習アンケートに回答する。					
				必要時間（単位：時間）： 40 時間	

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース】

学習課題・学習時間							
事前学習 ・臨床実習目標シートの作成							
学外実習 ・実習記録の記載を行う。							
事後学習 ・実習記録の整理							
必要時間（単位：時間）： 5 時間以内							
達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	20	10	40	30	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	5	15
	思考・推論・創造する力	0	0	0	10	5	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	5	10	5	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	5	0	10	5	20
	問題を発見・解決する力	0	5	5	10	5	25
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				
レポート	①	✓	実習を行う施設の概要についてレポートにまとめる。また、各講義にて実習に関わる課題を提示し、思考力・表現力を評価する。各採点基準は授業時に提示する。			点数化して返却する。	
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	実習終了後に、ポートフォリオに準じて学習内容をまとめて発表する。発表方法はパワーポイント等を用いて時間は 1 人 5 分程度とする。評価内容は、話す声の大きさ、話す内容、資料の見やすさ、実習内容に基づいたプレゼンとなっているか等とする。			プレゼンテーションの評価結果を返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	ファイルに目標シート、実習前レポート、実習記録、実習の振り返り、実習の課題をまとめること。評価基準は立案した目標に整合性があること、実習の経験に基づいて振り返り・課題が実施できていること、誤字脱字がなく丁寧に記述できていること等とし、ループリックは事前に掲示する。			点数化して返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	実習中の取り組みについて実習指導者からの学生に対する評価・コメントを基に学内にて評価する。			実習指導者からのコメントを返却する。	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース】

備 考	
他 担 当 教 員	粕山 達也、三科貴博、関口 賢人、甘利 貴志、大塚 篤也、坂本 祐太、元山 美緒
教員の実務経験	全ての教員が理学療法士として5年以上の臨床経験を有する。
実践的授業の内容	病院やクリニック等において理学療法業務を見学し、理学療法士の仕事内容や対象疾患について学ぶ。加えて、事後学習において理学療法士として病院等で勤務経験を有する教員が成果発表やポートフォリオに対してフィードバックを行い、理学療法士としての基礎的知識を教授する。
そ の 他	・受講態度に問題がある場合は退室してもらう。 ・学外実習時には、実習地の規則を守り、実習指導者の指示に従うこと。注意しても守れない学生は実習を中止する場合がある。 ・学外実習時は大学指定の実習着を着用し、身だしなみを整えること。実習に相応しくない頭髮・服装の場合には、学外実習に参加できない場合がある。尚、実習地より服装の指定があった場合には、実習地の指示に従うこと。 ・大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業、学外実習への参加を認めない。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢や講義の進行状況によって、シラバスの内容を一部 変更することがある。